

1. 基本情報

評価対象年度 (令和4 年度)

施策コード	431	施策名	農業の振興
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	43	産業によってにぎわいや活気を生み出すまち	
主担当部	地域振興部	主担当課	産業振興課

2. 施策の方向

10年後の姿	農のある風景が保全され、活気ある農業が安定的に営まれています。また、多くの市民が農業を身近に感じ、地元で生産された新鮮で安全・安心な農産物が提供されています。		
施策の方向性	1	多目的機能を持つ農地の維持・保全に努めます	
	2	安定した農業経営を支援します	
	3	地産地消を進め、農業とふれあう機会をつくります	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
農業振興対策事業	2	産業振興課	33,476
農業まつり事業	3	産業振興課	544
市民農園事業	3	産業振興課	3,136
ひまわりフェスティバル事業	1、2、3	産業振興課	4,810
地産地消推進事業	3	教育企画課	1,137
総事業費(施策の合計)			43,103

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	市内の農業・農家を身近に感じると思う人の割合		目標値	68.6	68.6	69.4	69.4	69.4
	説明	—	単位 %	実績値	66.0 (※)	66.0 (※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	96.2%	96.2%			
②	名称	日頃から市内で生産されたものを購入するようになっている人の割合		目標値	47.8	47.8	49.4	49.4	49.4
	説明	—	単位 %	実績値	42.5 (※)	42.5 (※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	88.9%	88.9%			

※①②抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ひまわりフェスティバルは中止となったがバーチャルひまわりフェスティバルの開催や市内各所でひまわりを咲かせる取組みなど、次年度に向けて機運を醸成することができた。 ●都市農地の保全に向けて都市農地貸借円滑化法に基づき6件の農地貸借が認定された。 ●令和4年度に創設した地場産農産物加工販売支援事業補助金を活用し、新たに3品の加工品を製造、販売につなげることができた。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	依然として肥料や飼料、農業資材の高騰が続いており、農業経営を圧迫している。
-------------	---------------------------------------

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	ひまわりフェスティバルや農業まつりを通じて農業をより身近に市民に感じてもらえるように、実施方法の見直しや情報発信に対する取組みが必要となる。
	課題に対する令和6年度以降の取組	各実行委員会とともに十分な協議を行い、イベントを通じた農業振興に努める。
②	施策を進める上での課題	地産地消促進を図るために、市内で生産される農産物のPRの充実や付加価値を高める取組みが必要となる。
	課題に対する令和6年度以降の取組	地場農産物を用いた加工品や飲食店メニューなど農商工連携や農福連携などの強化を目指す。また学校給食への地場農産物の導入促進を図る。
③	施策を進める上での課題	安定した農業経営に向けて、生産性の向上を図る必要がある。
	課題に対する令和6年度以降の取組	スマート農業の推進に向けた取組みのほか、東京都の補助事業を積極的に活用し生産基盤の整備を促進することで生産性の向上に努める。
④	施策を進める上での課題	高齢化などの要因により肥培管理が十分でない農地について対策を講じる必要がある。
	課題に対する令和6年度以降の取組	令和5年度に創設した都市農地貸借促進事業補助金を活用するほか、農地貸借を促進する事業の検討により生産性の高い農地の保全に努める。